

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和4年3月8日（火）13時30分から15時まで
参加者	委員：16人 事務局：1人 その他：12人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：1人、蒲協働センター：1人、天竜協働センター：1人、包括支援センターあんま：3人、関係機関2人、浜松市社協：3人）
場 所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内 容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 新型コロナウイルス感染拡大のため、予定の3回から2回の開催となった。 ・各地区の検討項目 （蒲） 事業の継続と担い手の養成 （和田） 和田地区住民のニーズを把握する。 （中ノ町） 買い物支援 移動販売の検討 <p>3 グループワーク</p> <p>地区ごとに分かれて進捗状況の確認と、新たな課題がないかなどを協議。</p> <p>4 各地区からの報告</p> <p>前回から今回の会議までの進捗状況と地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p>中ノ町地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の再編として、シニアクラブの整理を行った。9つの自治会があり1自治会の中に1シニアクラブにするように再編した。 ・自治会館の利用の問題で、今後利用料金を自治会で補助していくかどうか検討していく。 ・現時点での課題は、サロンの活性化、移動手段の問題、地域の中でのつながり等の問題が挙げられた。 <p>蒲地区</p> <p>事業の継続と担い手の育成について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援の担当者は70～80代の女性が主となってきている。 ・平日に活動できる担い手を見つけるのが難しい。 ・担い手募集の方法として、次年度蒲協働センター祭りの際にサークル活動を行っている団体や大学・高校のボランティア団体等にも声をかけていく。

	<p>和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情把握のためアンケートを実施した。2月に、1093枚を民生委員ルートと自治会ルートで配布し3月に回収予定。集計後は町単位で地域のニーズの内容を検討する。 ・丁寧に需要を探れば、潜在的なニーズがもっとあると思う。 ・新たに居場所を立ち上げるなら、運営者が必要なサロンというより、フリースペースを開放していつでも自由に交流できるようなものにするのはどうか。 <p>5 副会長挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>次回、令和4年度第1回協議体会議は令和4年5月下旬から6月上旬を目途に調整を行う。</p>